



株式会社 タクマ

証券コード：6013

株主通信

第122期

中間報告書

2025年4月1日から2025年9月30日まで

技術を大切に

人を大切に

地球を大切に

株主の皆様へ



代表取締役社長

濱田州朗

平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社は2021年に長期ビジョン「Vision2030」を策定し、「ESG経営の推進によりお客様や社会とともに持続的に成長し、再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心にリーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続ける」ことを目指しています。その実現に向けた第2ステップとして、第14次中期経営計画（2024～2026年度、以下「本中計」）を実行しています。

本中計は、グループの成長を支える柱である環境・エネルギー（国内）事業において、特に一般廃棄物処理プラントの受注（更新、基幹改良）と、ストックを最大限活用した収益モデルの確立に優先的に経営資源を投入し、長期ビジョン「Vision2030」の実現に向けた成長ストーリーを具現化する位置づけとしております。堅調な市場環境を背景に、2025年3月期には過去最高となる連結受注高2,463億円を記録するなど、取り組みが着実に進捗しているものと認識しており、2025年5月には本中計の目標数値を上方修正しました。

当社の事業は多くの人手が必要ですが、労働市場で特に若年層の流動化が進む中、安定的な人材の確保・育成が大きな課題です。新卒・キャリアともに採用を強化しており、近年は毎年約80名の社員を採用するとともに、従業員エンゲージメントの向上を図るため、社員教育の充実や、本人の適性に合わせた人事ローテーション、ワークライフバランスの実現に向けた取り組みなどに注力しています。今後は、当社の魅力をより積極的に発信し、タクマのブランド力を高めていきたいと考えています。

今後とも株主・投資家、お客様、協力企業の皆様などすべてのステークホルダーの皆様の期待に応えられるよう、タクマのさらなる発展に向けて全力を尽くしてまいりますので引き続き当社へのご理解、ご支援をお願い申し上げます。

CONTENTS

株主の皆様へ.....	1	事業の概況.....	7
2025年度(第122期)上半期の業績および今後の取り組み...	2	会社概要、グループ会社.....	9
経営戦略.....	3	株式の状況.....	10
トピックス.....	4		

2025年度（第122期）上半期の業績および今後の取り組み

2025年度（第122期）上半期における当社グループの経営成績は、ごみ処理プラントやバイオマス発電プラントなど引き続き堅調な需要を着実に受注に結びつけ、受注高は前年同期並みの1,617億円となりました。また、売上高は主に民生熱エネルギー事業の増加により20億円増加の701億円となりました。

損益面においては、環境・エネルギー（国内）事業、環境・エネルギー（海外）事業、設備・システム事業の減益により、前年同期に比べ営業利益は4億円減少の41億円、経常利益は4億円減少の45億円、親会社株主に帰属する中間純利益は2億円減少の38億円となりました。

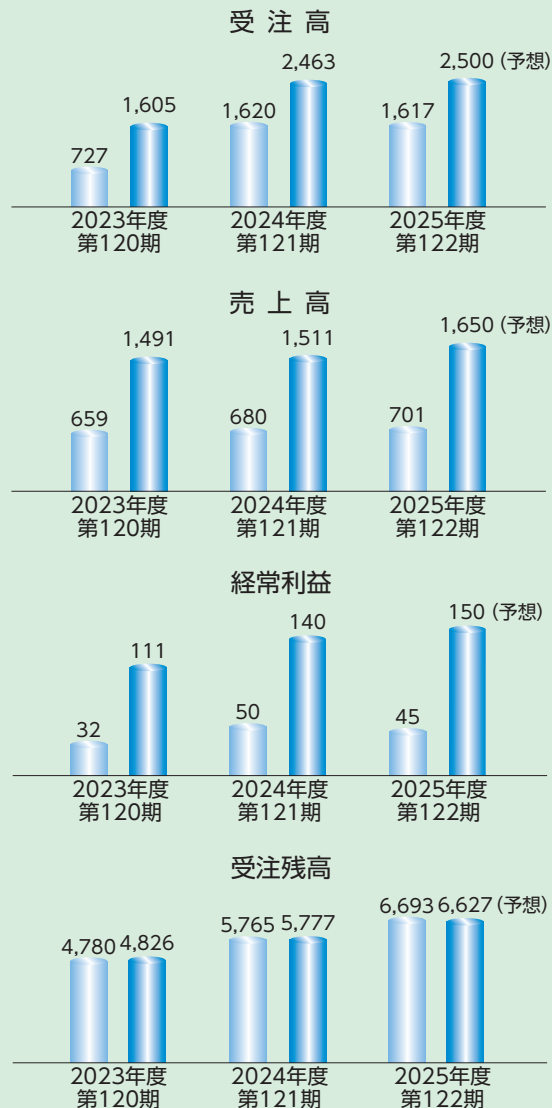
2025年度（第122期）通期の予想は、受注高は2,500億円、売上高は1,650億円、営業利益が145億円、経常利益が150億円、親会社株主に帰属する当期純利益が117億円と概ね堅調に推移しており、期初予想通りとしております。

当社は激化する市場での競争力を確保するため、企業体質の強化を図りながら、安定した配当を維持することを基本に、業績等を総合的に勘案し、利益還元を行う方針であります。第14次中期経営計画では、配当性向50%またはDOE（自己資本配当率）4.0%の両基準で算出した金額のいずれか高い方を目標として設定しております。

この方針の下、中間配当金を期初予想通り1株39円とさせていただきました。2025年度期末配当金につきましては40円を予定し、年間配当金は合計79円とさせていただく予定です。

業績の推移（連結）

■ 上半期 ■ 通期 （単位:億円）

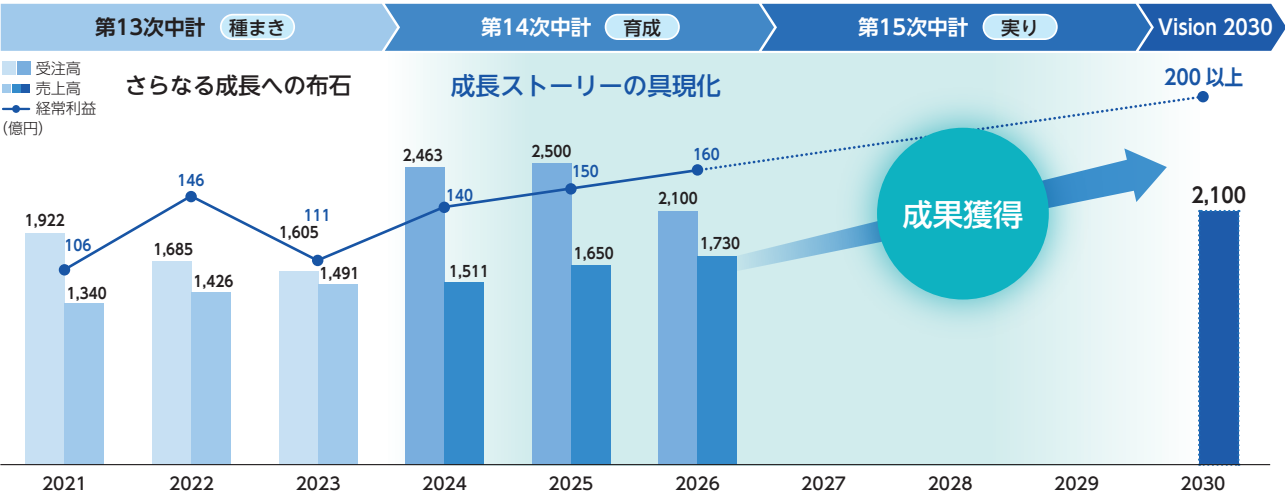


長期ビジョン「Vision2030」

再生可能エネルギーの活用と環境保全の分野を中心に、リーディングカンパニーとして社会に必須の存在であり続け、ありたい利益水準として経常利益200億円をめざす。

第14次中期経営計画

第14次中期経営計画（2024～2026年度）では、第13次中計で取り組んできた施策を具現化し、第15次中計以降の成果獲得につなげることをテーマとしております。課題解決に向けた施策の策定・実行を進めつつ、一般廃棄物処理プラントの受注（更新、基幹改良）とストックを最大限活用した収益モデルの確立に優先的に経営資源を投入してまいります。



事業戦略

従来ビジネスの一層の強化

将来の環境変化への対応

基本方針

① EPC事業での市場ポジション維持・拡大

② ストックを最大限活用した収益モデル確立

③ 民生熱エネルギー、設備・システム事業での着実な収益拡大

④ 国際事業での将来に向けた実績づくり

⑤ 戦略的M&Aの推進と新規事業の創出

経営基盤の強化

① 人材の確保と育成

② ナレッジマネジメント

③ コンプライアンスとリスクマネジメント

ごみ処理施設のDBO事業を受注（沼津市）

～ごみ質の変動に強い高耐久な焼却炉により、長期的な安定稼働を実現～

当社を代表とする企業グループは、静岡県沼津市からごみ処理施設のDBO事業（※）を受注しました。

本事業において、焼却施設では、高温高压ボイラを用いた高効率ごみ発電システムを導入することにより、余剰電力の最大化を目指します。また、中長期的なごみ量・ごみ質の変動に対応するため、運転データや焼却炉の燃焼映像を読み込み、傾向を学習しながら焼却炉を自動制御する「AI自動燃焼制御システム」を導入。さらに、焼却炉やボイラには腐食や摩耗に強い高耐久な材料を採用することで、長期間にわたる安定稼働の実現を図ります。リサイクル施設では、高品質な資源物を安定的に回収できる高効率選別システムを構築し、製品プラスチックの資源化をはじめとする沼津市における先進的な資源循環の取り組みに貢献します。

※DBO事業：公共団体等が資金を調達し、民間事業者に施設の設計・建設・運営を委託する方式
(Design：設計、Build：建設、Operate：運営)



沼津市新ごみ処理施設 完成イメージ

当社HPIにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



ごみ処理施設のDBO事業を受注（市川市）

～国内最高レベルの発電効率を実現する、カーボンニュートラル推進のランドマーク～

当社を代表とする企業グループは、千葉県市川市からごみ処理施設のDBO事業を受注しました。

本事業では、高温高压ボイラをはじめとした高効率発電システムにより、国内最高レベルの発電効率でごみ発電を行います。また、焼却施設に高性能ストーカ炉や焼却炉を自動制御する「AI自動燃焼制御システム」、Solution Lab（※）の運転支援など最新技術・サービスを導入することで、長期間の安定稼働を実現します。建屋の外観は、ごみ発電の主要機器であるボイラが外から見えるオープン構造とするのに加え、太陽光発電パネルを壁面にも設置することにより、クリーンな電力を生み出す施設であることを視覚的に表現し、市川市におけるカーボンニュートラル推進のランドマークとなることを目指します。

※ Solution Lab：当社のプラント遠隔監視・運転支援拠点
(<https://www.takuma.co.jp/business/service/solutionlab/>)



市川市次期クリーンセンター 完成イメージ

当社HPIにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



バイオマス発電プラントを受注（日本海水讃岐工場向け） ～自家消費用プラントにおけるバイオマスへの燃料転換に貢献～

当社は、株式会社日本海水から、同社讃岐工場（香川県坂出市）における自家消費用バイオマス発電プラント（発電出力：9,400kW）のEPC（設計・建設業務）を受注しました。

当社はこれまで、製塩業界のリーディングカンパニーである日本海水から、赤穂工場におけるバイオマス発電プラントのEPCや、同社を中心に設立された木質バイオマス発電事業会社の株式会社日本海水TTS荻田パワー向けバイオマス発電プラントのEPCおよびO&M（運転維持管理業務）などの受注を重ねてきました。

日本海水は、国産塩の安定供給体制を将来にわたって維持するとともにCO₂排出量の削減を図るため、讃岐工場の既存の石炭火力発電所を国内の木質バイオマス（建築廃材、樹皮、間伐材他）を中心とするバイオマス発電所に転換する計画（※）を進めています。

当社は本プラントの提供を通じて、日本海水のカーボンニュートラル達成に貢献してまいります。



日本海水TTS荻田パワー向け
バイオマス発電プラント

※：2025年8月26日付 日本海水プレスリリース
(<https://www.nihonkaisui.co.jp/files/uploads/20250826sanukinenten.pdf>)



当社HPにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



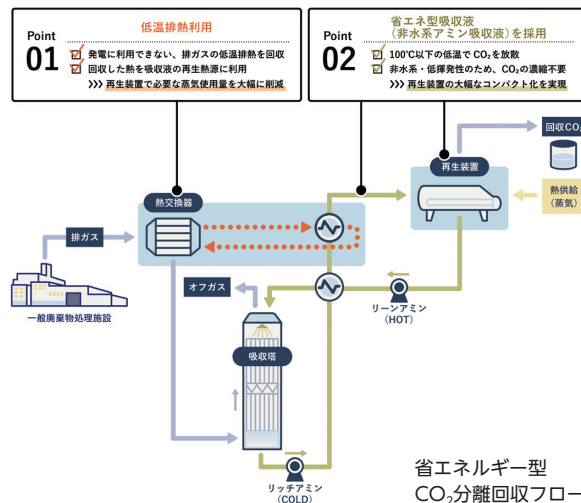
環境省「令和7年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」に採択 ～ごみ処理施設における「省エネルギー型CO₂分離回収技術」のパイロット試験を実施～

当社、泉北環境整備施設組合、株式会社ユニバーサルエネルギー研究所の3者にて実施する「省エネルギー型CO₂分離回収技術開発実証」が、環境省が公募する「令和7年度地域共創・セクター横断型カーボンニュートラル技術開発・実証事業」に採択されました。

本実証では、1日あたり6トン規模のCO₂回収能力を持つ省エネルギーかつ省スペースの実証設備を当社が開発し、2027年度から泉北環境整備施設組合、ユニバーサルエネルギー研究所と共同で、稼働中のごみ処理施設における性能評価を実施する予定です。実証の結果を踏まえてさらなる技術開発を重ね、当社では2030年度までに商用初号機を納入し、その後、全国のごみ処理施設に展開していくことを目指します。



当社HPにも情報を掲載していますので、
こちらからアクセスしてください



「日経・東証IRフェア2025」に初出展しました

9月26日、9月27日の2日間、東京ビッグサイトにて開催された個人投資家向けイベント「日経・東証IRフェア2025」に初出展いたしました。

イベントでは、会社説明会を実施し、当社の概要や事業戦略についてご紹介いたしました。また、当社ブースではミニ説明会を定期的に実施したほか、事業内容や成長戦略、配当方針などについてご説明し、多くの株主・投資家の皆様と直接意見交換を行うことができました。

今後も積極的なIR活動を通じて当社への関心とご理解を深めていただき株主・投資家の皆様との建設的な対話の充実を図ってまいります。



会社説明会



当社ブース

「統合報告書2025」を公開

9月30日より「統合報告書2025」を公開しました。

ステークホルダーの皆様にご覧いただくため、価値向上に向けた取り組みをより一層ご理解いただくため、価値創造ストーリー、価値創造の戦略について記載するなど情報の充実を図りました。ぜひご覧ください。

統合報告書2025は
こちらから
ご覧ください



TAKUMA
タクマ統合報告書 2025

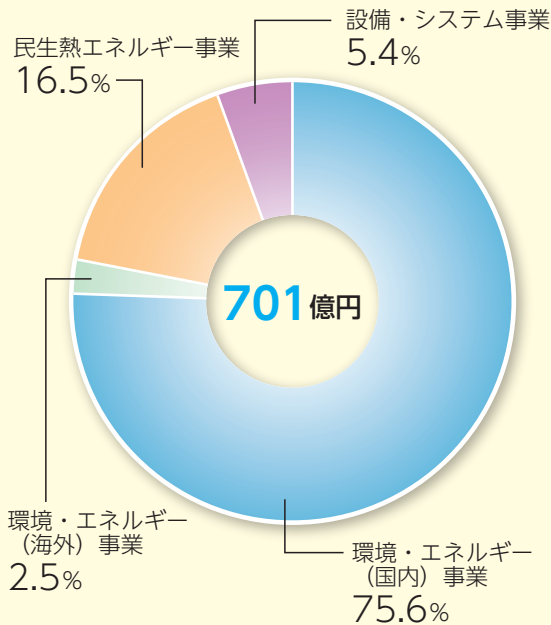


株式会社 タクマ

統合報告書2025

事業の概況（上半期）

売上高構成比率（2025年度上半期）

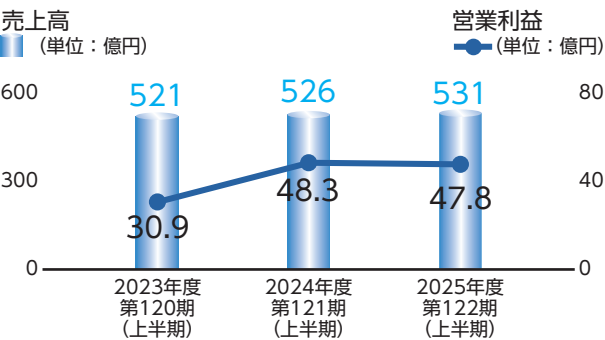


環境・エネルギー（国内）事業

自治体向けの一般廃棄物処理プラント、資源回収プラント、下水処理プラント、汚泥焼却プラント、民間向けの産業廃棄物処理プラント、バイオマス発電プラント等の設計、施工およびメンテナンスのほか廃棄物処理、電力小売を行っております。

売上高 **53,116** 百万円

営業利益 **4,788** 百万円



一般廃棄物処理プラント
(大任町 さくら環境センター)



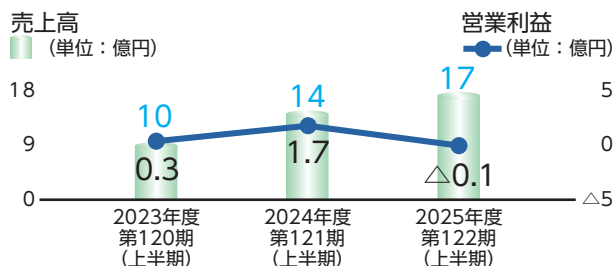
バイオマス発電プラント
(合同会社会津こもれび発電所)

環境・エネルギー（海外）事業

廃棄物発電プラントや東南アジア向けのバガス（サトウキビの搾りかす）を燃料とするバイオマス発電ボイラの設計、施工およびメンテナンスを行っております。

売上高 **1,750** 百万円

営業利益 **△9** 百万円

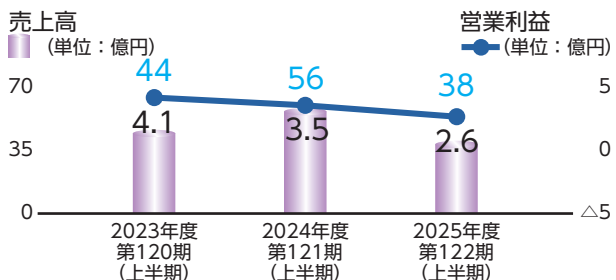


設備・システム事業

大学、研究所、病院向けの建築設備、空調設備や半導体産業向けのクリーンルーム、ケミカルエアフィルタ、洗浄・乾燥設備等の製造、販売を行っております。

売上高 **3,825** 百万円

営業利益 **269** 百万円

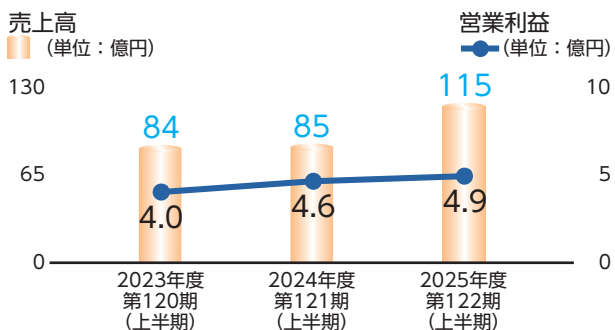


民生熱エネルギー事業

ホテル、旅館から工場まで幅広い分野で活躍する貫流ボイラ、真空式温水発生機や、炉筒煙管ボイラ、水管ボイラ、熱媒ヒータ等の製造、販売、メンテナンスを行っております。

売上高 **11,584** 百万円

営業利益 **493** 百万円



蒸気ボイラ
エクオス シリーズ
EQi-6001型



水素焚 真空式温水発生機
ゼロエミッション パコティンヒーター
GTL-300ZE型

会社概要 (2025年9月30日現在)

設立 1938年6月10日
資本金 13,367百万円
本社の所在地 〒660-0806
兵庫県尼崎市金楽寺町2丁目2番33号
TEL 06-6483-2609

事業所

大阪事務所 〒553-0003 大阪市福島区福島7丁目15番26号（JMFビル大阪福島01）
TEL 06-7670-6110
東京支社 〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目9番1号（芝浦ルネサイトタワー）
TEL 03-5730-9200
北海道支店 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地（大五ビル）
TEL 011-221-4106
東北支店 〒980-0811 仙台市青葉区一番町2丁目1番2号（NMF仙台青葉通リビル）
TEL 022-222-3042

中部支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22番8号（大東海ビル）
TEL 052-571-5211
九州支店 〒810-0022 福岡市中央区薬院1丁目1番1号（薬院ビジネスガーデン）
TEL 092-717-2828
播磨工場 〒676-8540 兵庫県高砂市荒井町新浜1丁目2番1号
TEL 079-443-6511
台北支店 台湾台北市114-92内湖區基湖路35巷16号7樓A1
TEL +886-2-8752-3838

グループ会社 (2025年9月30日現在)

環境・エネルギー（国内）事業

株式会社タクマテクノス
ごみ処理施設、水処理施設等の維持管理運営および各種ボイラ、環境設備等の設計、施工および監理
タクマ・エンジニアリング株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の設計
協立設備株式会社
ごみ処理施設、下水処理施設機械設備、一般産業用ボイラ設備等の設計・施工および監理
株式会社北海道サニタリー・メンテナンス
下水汚泥処理施設の維持管理運営
株式会社タクマテクノス北海道
ごみ処理施設等の維持管理運営
タクマシステムコントロール株式会社
環境設備プラント、エネルギープラント等の電気計装設備の設計
株式会社タクマプラント
各種ボイラ、環境設備等のメンテナンス業務
株式会社アイメット
人材派遣業、保険事業
株式会社環境ソルテック
水質、排気ガス、土壌汚染等環境問題に関連する分析、計量事業
エナジーメイト株式会社
コージェネシステムおよび同発電設備に関するシステム販売および民生用オンサイト型エネルギーシステムの一括サービス業
いわて県北グリーン株式会社
一般廃棄物および産業廃棄物の処理業務
株式会社タクマエナジー
電力小売事業
株式会社テクノリンクス
環境リサイクル装置の設計・製作・販売および保守・点検
栃木ハイトラスト株式会社
産業廃棄物の処理業務
株式会社エコス米沢
産業廃棄物の最終処分業務
長泉ハイトラスト株式会社
一般廃棄物最終処分場の施設整備、運営および維持管理

藤沢ハイトラスト株式会社
ひたちなか・東海ハイトラスト株式会社
阿南ハイトラスト株式会社
かしはらハイトラスト株式会社
くるめハイトラスト株式会社
ほくたんハイトラスト株式会社
諏訪湖ハイトラスト株式会社
今治ハイトラスト株式会社
うわじまハイトラスト株式会社
町田ハイトラスト株式会社
函館ハイトラスト株式会社
住之江ハイトラスト株式会社
隠岐の島ハイトラスト株式会社
西知多ハイトラスト株式会社
さいたまハイトラスト株式会社
駒岡ハイトラスト株式会社
一般廃棄物処理施設の運転および保守管理

環境・エネルギー（海外）事業

臺田環工股份有限公司（Taiden Environtech Co., Ltd.）（台湾）
ごみ処理施設等のメンテナンス業務
Siam Takuma Co., Ltd.（タイ）
エネルギー関連および環境関連プラントの販売、同プラントの部品販売およびアフターサービス

民生熱エネルギー事業

株式会社日本サーモエナ
各種ボイラおよび関連機器の製造・販売
株式会社IH汎用ボイラ
各種ボイラおよび関連機器の製造・販売

設備・システム事業

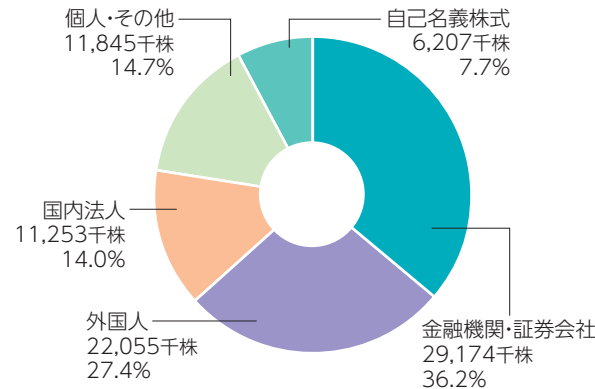
株式会社サンプラント
空調調和設備、給排水衛生設備、電気設備等の設計・施工および監理
株式会社ダン・タクマ
クリーン機器、洗浄装置、ケミカルフィルタ、クリーンルーム、乾燥装置、サールマシン等の製造、販売

株式の状況

(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	321,840,000株
発行済の株式総数	80,536,800株
株主総数	6,739名

所有者別分布状況



大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	9,498	12.8
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	4,004	5.4
光通信KK投資事業有限責任組合	3,815	5.1
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	3,462	4.7
日本生命保険相互会社	2,515	3.4
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC SECURITIES/UCITS ASSETS	2,138	2.9
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,126	2.9
タクマ共栄会	2,114	2.8
中央日本土地建物株式会社	1,305	1.8
株式会社三井住友銀行	1,297	1.7

(注) 1. 当社は2025年9月30日現在、自己株式6,207千株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式6,207千株を控除して計算しております。

【単元未満株式の買増請求・買取請求のご案内】

単元未満株式の買増し

株主様がご持ちの単元未満株式と併せて1単元（100株）となる数の株式を、当社が市場価格で株主様に売却（株主様にとっては買増し）いたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 75株を買増しして、100株にすることができます。

単元未満株式の買取り

株主様がご持ちの単元未満株式を、当社が市場価格にて買取りいたします。

例) 25株ご所有の株主様 → 25株を当社に売却することができます。

※ご希望の株主様は、次頁の株主メモ欄に記載の特別口座管理機関へお申し出ください。なお、証券会社等に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社等へお申し出ください。

情報満載！ホームページのご案内

当社のホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。株主・投資家の皆様に見ていただきたい情報を充実させておりますので、ぜひアクセスしてください。

<https://www.takuma.co.jp/>



株 主 メ モ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-288-324 (株式に関する諸手続きのお問い合わせ)
株主総会資料の電子提供制度 (書面交付請求) についてのお 問 合 せ	TEL 0120-524-324 (電子提供制度専用ダイヤル)
公 告 方 法	電子公告 (当社のホームページに掲載) (https://www.takuma.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載
上場金融商品取引所	東京証券取引所 (証券コード：6013)
単 元 株 式 数	100株

1. 株主様の住所変更・買取請求その他お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（みずほ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 未受領の配当金につきましては、みずほ信託銀行・みずほ銀行の本支店でお支払いいたします。
3. 証券会社等に口座をお持ちでない株主様の株式に関するお手続きにつきましては、特別口座管理機関にお問い合わせください。



VEGETABLE
OIL INK